

第 11 回気象文化大賞  
成果報告会 開催報告

2022



みんなで気象文化を作ろう！

[wxbunka.com](http://wxbunka.com)

一般財団法人 WNI 気象文化創造センター

## 第 11 回気象文化大賞成果発表会の開催報告

この度、2022 年 5 月 27 日(金)に第 11 回気象文化大賞の成果発表会を開催しましたので、報告します。

第 11 回気象文化大賞は、2021 年 2 月～4 月に公募し、選考委員会（東京大学中須賀真一氏を選考委員長 とする）による厳正かつ公平な審査のもと、13 件の受賞者を決定しました。今回はそのうち、12 件の受賞者が参加し、成果発表会を行いました。

（受賞内容はこちらを参照 [https://www.wxunka.com/cms/wp-content/uploads/2021/02/result-of-11th\\_202107.pdf](https://www.wxunka.com/cms/wp-content/uploads/2021/02/result-of-11th_202107.pdf)）






### ●開催概要

- ・参加者：当財団役員、同選考委員、第 11 回気象文化大賞受賞者
- ・開催日：2022 年 5 月 27 日(金)
- ・方法：zoom を用いたオンライン会議形式
- ・発表中の様子 (YouTube 動画)：<https://youtu.be/1vNBuToWqcE>

●プログラム

発表会は下記のプログラムで進行しました。発表で使用したスライドもご覧頂けます。

No.	発表者	タイトル	資料
1	瀧本家康 (宇都宮大学) 	ICT を活用した雨滴の終端速度について のモデル実験開発と試行実践	
2	岩崎博之 (群馬大学) 	気象衛星ひまわり赤外多波長データを用いた落雷予測のための基礎研究	<a href="#">○</a>
3	伊藤優香 (個人) 	飛行機雲の発生・消滅について	<a href="#">○</a>
4	山下幸三 (小松大学) ※受賞当時は足利大学所属 	雷雲内の電荷量・電荷高度の変動検出による落雷発生 の短時間予測	<a href="#">○</a>
5	吉田将司 (サレジオ工業高等専門学校) 	学内温熱環境観測用センサネットワークを利用した学習環境の快適度調査	<a href="#">○</a>
6	安本勝 (NPO 法人富士山測候所を 活用する会) 	富士山体を活用した新しい手法の雷観	<a href="#">○</a>
7	Toshiyasu NAGAO (Laboratory for Environmental Research at Mount Fuji, Certified NPO Mount Fuji Research Station) 	Geomagnetic monitoring for predicting volcanic eruption at Mt. Fuji	<a href="#">○</a>
8	Yuichi Ono (Tohoku University) 	Research to develop a strategy to reduce wind related disaster risks caused by severe local storms in Bangladesh	<a href="#">○</a>
9	山崎政彦 (認定NPO法人大学 宇宙工学コンソーシアム) 	地震先行電離圏変動現象検知のためのCubeSatのエンジニアリング・モデル製作：衛星バス・サブシステムの統合	<a href="#">○</a>

10	Masashi KAMOGAWA (Division for Earthquake Prediction Research, Global Center for Asian and Regional Research, University of Shizuoka)		Development of Electric field and plasma probes mounted on 6U Cube Sat for observing atmospheric and space electricity for the earthquake prediction	
11	岩嵯利勝 (高岡市立中田中学校)		気象情報や防災情報の具体的な活用方法を身につけた中学生が、主体的に行動することで、気象災害から身を守ることができる地域を育てる活動	
12	吉川契子 (静岡県立静岡城北高等学校)		過去に水害に見舞われた地域の高等学校における気象教育の推進	

● 発表会を終えて

気象文化大賞の成果発表会は例年であれば三代目の南極観測船 SHIRASE にて当財団の役員を対象に開催していましたが、今回はオンライン形式で行いました。今後はより多くの方にも成果発表会に参加していただくことが出来るよう、検討して参ります。

質疑応答の様子



鴨川氏→岩崎氏



中須賀選考委員長→山崎氏



事務局→小野氏



岩崎氏→伊藤氏



武田選考委員→吉川氏

● 選考委員 (敬称略)



◇中須賀真一： 東京大学航空宇宙工学専攻教授。



◇戸矢時義： 元 WMO 国連世界機構機関アジア・太平洋地区部長。



◇武田康男： 第 50 次南極観測隊。空の探検家。元千葉県立東葛高等学校教諭。



◇廣川州伸： 合資会社コンセプトデザイン研究所所長。



◇内藤邦裕： 株式会社ウェザーニューズ。ウェザーフォーキャスト統括リーダー。



◇宮部二郎： 当財団代表理事。SHIRASE5002 艦長。

問合せ先

一般財団法人 WNI 気象文化創造センター

<住所> 〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬 1-3 幕張テクノガーデン

<電話番号> 043-274-3191

<設立> 2009 年 12 月 1 日

<HP> <http://wxbunka.com>